

公表		事業所における自己評価総括表			
○事業所名	社会福祉法人侑愛会 つくしんぼ学級				
○保護者評価実施期間	2026年 1月 20日		～	2026年 2月 13日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数)	31	
○従業者評価実施期間	2026年 1月 21日		～	2026年 2月 28日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数)	30	
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 15日				

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	■利用児とご家族が、つくしんぼ学級の支援に対する満足度が高く、それぞれのニーズに沿った支援が行えていると思われる。	●利用するおこさんのアセスメントを丁寧に、物事の理解の仕方や行動特性を踏まえて、おこさんにとってわかりやすく生活しやすい環境と自分の思いを伝えやすいようなコミュニケーション手段を整えるようにしている。 ●ご家族への対応は、定期的な個別懇談以外にも必要に応じて懇談の機会を設けたり、家庭での困りごとに対応し、ご家族の子育てをできる限りサポートするように意識している。	▶支援の質の向上のために、職員の学ぶ機会の確保と業務の効率化を進めて、一步踏み込んだご家族の子育て支援、家庭への支援の般化を進めていきたい。そのために、職員の労働環境を整えることも、支援の質の向上に間接的に繋がると考えている。
2	■就学前の年長のおこさんに対して、学校や放課後等デイサービス事業所への引き継ぎを丁寧に、移行支援がスムーズに行っていること。	●就学先の学校や利用する予定の放課後等デイサービス事業所が決まったら、ご家族の同意を得て、療育シートを送付して引き継ぎを行いたいという意思表示をしている。学校や放課後等デイサービス事業所も協力的であり、在園中におこさんたちの様子を見に来てくれる所が増えており、引き継ぎを行うことで移行支援がスムーズになっている。	▶今年度は、就学先学校や利用する予定の放課後等デイサービス事業所への書類の発送時期が遅くなり、学校の一日体験入学に間に合わなかったり、学校の春休み期間で放課後等デイサービス事業所が忙しい時期に引き継ぎを行うことになってしまい、先方にご迷惑をかけてしまったので、引き継ぎ資料の送付時期を早めるようにしたい。
3	■保育園・認定こども園・幼稚園で生活することが難しくなり、利用先が無くて困っているおこさんとご家族を積極的に受け入れていること。	●児童発達支援センターの役割として、セーフティネットでありたいと考えている。発達にサポートが必要な子が、幼児期に必要な体験ができる場として、自分の思いが伝えられるようになり、自己肯定感が高まるような関わりと支援環境を整える努力をしている。 ●医療的ケア児を受け入れるために、登録喀痰吸引等事業者(登録特定行為事業者)に登録している。看護師を配置する他、保育士・支援員が介護職員等の喀痰吸引等の研修(第3号研修)を受け、認定特定行為業務従事者となって、医療的ケアを行えるようにしている。	▶今後は、保育園・認定こども園・幼稚園で生活することが難しくなったおこさんを受け入れた後、生活スキルやコミュニケーション・社会性の基盤を作って、再度保育園・認定こども園・幼稚園への移行支援を進められるようにしていきたい。そのためには、委託を受けていることも発達支援センターや函館地域発達支援コーディネーター連絡会の事務局活動を通して、地域の保育園・認定こども園・幼稚園の保育士さん支援力を高めることに貢献したい。 ▶地域のニーズに応じて医療的ケア児を積極的に受け入れるために、介護職員等の喀痰吸引等の研修を更に職員に受けてもらい、喀痰吸引等ができる職員を増やしたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	■保育園・認定こども園・幼稚園のこどもたちとの交流の機会が限定されており少ないことが、ご家族からの意見としてあり、職員からも交流の機会を増やしたいという意見が挙がっている。	●法人内の1つの認定こども園とは、年2回計画をして行っているが、それ以上は行っていない。	▶まずは、系列法人内の幼稚園・認定こども園と交流の機会を計画して、こども同士の交流の機会を増やしたい。
2	■園舎内の壁の汚損がひどく、修繕が必要である。	●壁紙は剥がれやすく、おこさんたちの中には壁紙が少しでもめくれていたり、さらに剥がしたくなるという衝動がある子もいる。 ●衝動的に、パニックになって体を壁にぶつけることで、壁に穴が開くことがある。	▶次年度は、壁の改修工事を計画している。壁紙ではなくパネルを貼ることで素材を工夫し、丈夫で壁紙が剥がれない構造にすることで、おこさんたちが怪我をしないような、安全で衛生的な環境を整えたい。
3	■職員の労働環境について、改善が必要である。業務に追われており、支援について話し合う機会が十分に持てていないことから、職員間のコミュニケーション不足により、おこさんの支援に不具合が生まれていると感じている職員がいる。	●クラス中での話し合いの日を決めて時間の確保はしているが、職員の勤務時間がまちまちであることで、時間を合わせづらさがある。また休憩が取りづらさを感じている職員がいる。 ●児童発達支援事業と日中一時支援事業の職員間でのコミュニケーションの取りづらさや情報共有の不足が職員から挙がっている。 ●管理職と職員とのコミュニケーションの不足や話し合っても状況が改善されにくいと感じている職員もいる。	▶労働環境の改善、効率化のために、一つの方法としてDX化が必要である。職員間の情報共有・コミュニケーションツールとしてのチャットアプリの活用や連絡帳アプリの活用について検討し、導入を考えている。 ▶管理職と職員とのコミュニケーションの機会を増やすために、面談の機会を増やしたい。非効率的であっても業務として行わなければならないことや改善が難しいことも含めて、管理職が説明責任を果たすことが必要である。

	公表	保護者等からの事業所評価の集計結果
--	----	-------------------

事業所名	つくしんぼ学級	公表日	2026年3月17日	回収率	81.57%
		利用児童数	2026年3月1日 40名	回収数	31 / 38家族

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	おこさんの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	28 90.3%	3 9.7%	%	%	<ul style="list-style-type: none"> ●たまにホールに人数が密集している事がある。走り回る場所なのでケガがないか心配になる時がある。 ●各クラスちょっと狭いかなと感じます。 	<ul style="list-style-type: none"> ■クラス内をパーティション等で区切っていることで、狭さを感じられることもあると思います。広すぎる環境や様々な物が見える環境だと気が散りやすいおこさんもいるので、部屋の中を区切って環境を整えていることをご理解いただければと思います。 ■ホールの使用人数は、クラス内で、または他クラスとの間で話し合っ使用時間の調整をしていますが、人数が多くなったこともあると思います。引き続き人数を調整しながら、安全に遊べる環境を整えていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	28 90.3%	1 3.2%	%	2 6.5%	<ul style="list-style-type: none"> ●担任以外の補助の先生が沢山いて、わりと固定で入ってくれているので、子どもが担任以外の先生も好きだと言っている。 ●お子さんによって特性があると思うので現場の職員の方の立場でないとわからない部分が多いです。 	<ul style="list-style-type: none"> ■人員配置基準（児童4人に対して職員1名という国の基準）よりも多い職員を配置しており、おこさんのペースに沿った支援ができるようにしています。
	3	生活空間は、おこさんにわかりやすい環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、おこさんの特性に応じて、バリアフリー化や棚や家具の配置を工夫して、おこさんが情報を理解し、自分の思いを伝えやすいような配慮が適切になされていると思いますか。	29 93.5%	1 3.2%	%	1 3.2%	<ul style="list-style-type: none"> ●素晴らしい。一人一人に合った視覚援助まで完璧だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ■引き続き、おこさんにとってわかりやすい環境づくりを行っていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、おこさん達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	27 87.1%	3 9.7%	%	1 3.2%	<ul style="list-style-type: none"> ●清潔ではあるが、建物内部が古過ぎる。 	<ul style="list-style-type: none"> ■壁紙の剥がれや壁の破損が目立っており、不快に感じられた方もいらっしゃると思います。次年度、壁の改修工事を予定しております。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な 支援の 提供	5	おこさんのことを十分に理解し、おこさんの特性等に 応じた専門性のある支援が受けられていると思 いますか。	30 96.8%	1 3.2%	%	%	●親と同じくらいに熱量を持って接したり大切に してくれているのが伝わる。	■引き続き、おこさんの理解の仕方に合わせた 支援を心がけていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の 提供する支援内容と合っていると思いますか。 (※重要事項説明書「7.支援の概要」の部分をご参 照ください。)	29 93.5%	1 3.2%	%	1 3.2%		■ホームページでも支援プログラムを公開して おりますので、重要事項説明書と合わせて、ご 確認ください。
	7	おこさんのことを十分理解し、おこさんご家族の ニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達 支援計画（個別支援計画）が作成されていると思 いますか。	30 96.8%	1 3.2%	%	%		■引き続き、おこさんの持っている力と目標と なることを見極め、ご家族からお話を伺いな がら、支援目標を作成していきます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドライン の「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支 援」「子育て支援」「移行支援」「地域支援・地域 連携」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項 目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容 が設定されていると思いますか。 (※児童発達支援計画を、ご参照ください。)	30 96.8%	1 3.2%	%	%		■児童発達支援計画については、6月の参観日 の際の学習会で、紹介をさせていただきました。 ご不明な点がありましたら、いつでも質問 していただければと思います。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思 いますか。	31 100%	%	%	%		■引き続き、児童発達支援計画に基づいて、お こさんの支援を行っていきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫 されていると思いますか。 (※「活動プログラム」は、毎月の予定表でお伝え している事業所の日々の支援の中で、一定の目的を 持って行われる活動のことで)	30 96.8%	1 3.2%	%	%	●たまに出し物という予定があるが、他の活動が良い かなあと思う。大型紙芝居も朝の会で出来ると思うの で他の活動を組み込んで欲しい。	■日々の活動の中で、着席して絵本や紙芝居の 読み聞かせや出し物に注目すること、複数人の こどもたちの中に入って着席して同じ時間を過 ごすことも、おこさんにとって必要な経験だと 考えており、大事な活動の機会と捉えておりま す。園からの説明不足もあったと思いますの で、次年度は園日よりや参観日の学習会、日々 の連絡帳や児童発達支援計画の確認等で、活動 内容とその目的についてご家族に説明する機会 を持ちたいと思います。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な支援の提供	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のおこさんと活動する機会がありますか。 (七重浜こども園のおこさんと一緒に鑑賞会を行いました。2月には、グラウンドで雪遊びも行う予定です。)	28 90.3%	3 9.7%	%	%	●先生達も大変だとは思いますが、子供の成長にも繋がりそうなので交流がもう少し増えてくれたらいいなと思いました。 ●機会を増やしてほしい。また、鑑賞会では七重浜こども園さんの発表時間が長過ぎだと感じた。	■同法人内の認定こども園・幼稚園との交流の機会を増やすことについては、検討していきます。 ■七重浜こども園との鑑賞会では、お互いの園の発表時間に差がありましたが、人前に出て発表することが苦手な子もおります。また大人が出し物を見せてもすぐに飽きてしまうおこさんが、七重浜こども園のおこさんの発表は注目して興味を持って見ていたという話も聞かれており、出し物を見るという時間も大切にしていることをご理解いただければと思います。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 (※入園時や新年度の療育説明会での、契約書や重要事項説明書の説明は、十分でしたか。運営規定・重要事項説明書は、ご家族の部屋において閲覧可能にしていますが、ご覧になったことはありますか。)	30 96.8%	1 3.2%	%	%	●入園前に届いた書類がとても分かりやすく準備しやすかった。担任の先生の写真付きプリントも非常に良かった。	■引き続き、ご家族の皆さんにわかりやすいような情報提供の仕方を心掛けます。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 (※個別懇談でのクラス職員からの説明は十分でしたか。)	31 100%	%	%	%		■引き続き、児童発達支援計画の説明については、わかりやすく丁寧に行えるようにしていきます。
	14	事業所では、ご家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 (※参観日での学習会やつくしんぼ丸の記事で、おこさんへの関わり方や支援の方法について紹介させていただきました。)	30 96.8%	1 3.2%	%	%	●自閉症についての特性の勉強会をして欲しい。	■3回目の参観日の学習会ではアンケートを取らせていただき、ご意見もいただきました。引き続き、ご家族が知りたい情報を提供できるよう、参観日の学習会や園だよりの記事を工夫していきたいと思います。
	15	日頃からおこさんの状況をご家族と伝え合い、おこさんの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	28 90.3%	2 6.5%	%	1 3.2%	●連絡ノートの内容がかなりしっかりしていて嬉しい。	■日々のおこさんの様子は連絡帳でお伝えすることが多く、電話やメールでお伝えすることもあります。知りたいことがありましたら、その都度お声掛けいただければと思います。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	31 100%	%	%	%	●申し出たらすぐ時間を作ってもらえた。	■定期的な個別懇談以外でも機会を作れますので、遠慮なくお声掛けください。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	30 96.8%	1 3.2%	%	%		■引き続き、ご家族の皆さんの思いにお応えできるように努めてまいります。
	18	父母友の会の活動の支援や、行事等の開催等により、ご家族同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされていますか。 また、きょうだいも参加できる行事の開催により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	26 83.9%	4 12.9%	%	1 3.2%	●卒園児の保護者からの話がとても貴重で知りたい事がしれた。	■つくしんぼ学級の行事に、たくさんのご家族にご参加いただきありがとうございます。きょうだいの皆さんも含めて、ご家族の皆様が楽しめる行事の運営に引き続き努めてまいります。 ■父母友の会の役員の皆様には、ご負担を掛けることも多かったと思います。お仕事をされているご家族が多い中、父母友の会の活動内容も効率化、コンパクト化が求められていると思います。無理なく、負担なく進められる父母友の会の活動になるように、園としても考えていきたいと思ひます。
	19	ご家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、ご家族に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	31 100%	%	%	%		■定期的な個別懇談以外でもお話をする機会を作れますので、遠慮なくお声掛けください。
	20	おこさんやご家族との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30 96.8%	1 3.2%	%	%		■連絡帳で情報伝達することが主な手段でした。連絡帳等で知らせてほしいことがありましたら、遠慮なくお伝えください。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をご家族に対して発信されていますか。 (※つくしんぼ学級専用のホームページやSNSはまだ準備できていませんでした。ご要望がありましたらその旨も、ご意見にお書きください。)	21 66.7%	4 12.9%	1 3.2%	5 16.1%	●行事などの内容や参加の確認の用紙が来てからしばらくして行事があるので近くなったらメールなどで詳細(日時や場所、必要なものなどの簡単なお知らせ)また送ってくれたりしたら嬉しいな-とは思ひます。 ●個人情報取り扱いのためかお便りにほぼ子どもの写真がないのが残念。他のクラスの様子が分かる機会がほぼないのでSNSがあると嬉しい。	■お忙しいご家庭が多いので、行事等の連絡は1か月前をめどにお知らせさせていただいています。行事によっては、直前に追加の情報提供や確認事項のお便りを出すこともありました。 ■園だよりでは、4月発行のつくしんぼ丸でおこさんたちの紹介を写真付きでしています。クラスの様子を伝える機会は持てていなかったもので、次年度の園だよりの内容として検討します。個人情報の取扱いについては厳しくなっておりますので、写真の掲載は難しさがあるかもしれませんが、文章で様子をお伝えすることも考えていきます。SNSはセキュリティの問題から、まだ導入が難しい状況です。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	29 93.5%	%	%	2 6.5%	●仕方がないが写真NGのご家庭があるのが残念だ。	■情報漏洩が無いように、個人情報の取り扱いには十分注意しております。写真の掲載についても、ご家族の思いを尊重しますので、掲載が難しい方もいらっしゃることをご理解いただければと思います。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。 (※新年度説明会でお渡しした、「リスクマネジメントマニュアル」をご参照ください。) また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 (※毎月、月替わりで、火災または地震・津波の避難訓練を実施しております。つくしんぼ丸の月予定表に、実施日を記入しております。)	31 100%	%	%	%	●おたよりでかなり詳しく記載していた。	■例年、新年度の説明会で説明の時間は十分には取れないのですがリスクマネジメントマニュアルをお渡ししています。このリスクマネジメントマニュアルは、毎年見直しを行いバージョンアップをしております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	31 100%	%	%	%	●実際に津波警報が出て避難する場面をたまたま駐車場において見たが職員も子ども達も落ち着いてバスに乗り込んでいたのを見た。日頃の避難訓練の成果だと感じた。	■毎月の予定表にも載せていますが、月に1回避難訓練をして、おこさんたちが安全に避難できるような体制を整えています。私たち職員も津波警報の際におこさんたちがスムーズに避難できたことに、日頃の訓練の成果を実感しております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 (※新年度説明会でお渡しした、「リスクマネジメントマニュアル」をご参照ください。)	31 100%	%	%	%		■職員間ではヒヤリハット・事故の報告について、毎日クラスで話し合っ出て出し合い、クラスからの報告をリスクマネジャーがまとめて職員会議で周知し、事故が起こらないように園全体で気をつけるようにしております。ここで得た情報は、リスクマネジメントマニュアルにも反映しています。
	26	事故等（怪我等を含む）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	30 96.8%	1 3.2%	%	%		■おこさんが怪我をした際には、連絡帳や電話で状況を伝えさせていただきました。通院が必要な場合は、すぐにご家族に連絡して、対応させていただきました。

		チェック項目	はい	どちらとも いえ	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
満足度	27	おこさんは安心感をもって通所していますか。	29 93.5%	1 3.2%	%	1 3.2%	<ul style="list-style-type: none"> ●第二の家のように安心して通っています。 ●実際につくしんぼのバスに乗る姿を見ていないので、安心してバスに乗り込んでいるのかというのわかりません。でも、保育参観などでつくしんぼで過ごしている姿を見る限り、伸び伸びと動き回っているので安心して活動していると思います。 ●ほとんどは嬉しそうに通所しているが、ごく稀に嫌だという表現をすることがある。その際には子どもの思いに寄り添ってくれたり、お友達との関わりに配慮してくれたり、そのままにはせず環境設定を考えているのが親としても安心できます。そのおかげで子どももつくしんぼを楽しみにしているし、安心できる場所になっているだろうと感じます。 	<ul style="list-style-type: none"> ■登園を楽しみにしているおこさん、つくしんぼ学級に来て、安心してリラックスして過ごせるおこさんがいることはありがたく思います。そのようなおこさんが一人でも増えるよう、おこさんに合わせた環境設定や職員の関わり方ができるよう努めていきたいと思っています。
	28	おこさんは通所を楽しみにしていますか。	27 87.1%	3 9.7%	%	1 3.2%	<ul style="list-style-type: none"> ●ずっと行きたい、つくしんぼ辞めたくない、住みたいと言うくらい楽しみにしています。 	
	29	事業所の支援に満足していますか。	30 96.8%	1 3.2%	%	%	<ul style="list-style-type: none"> ●年長の一年をつくしんぼで過ごせて良かったと思えました。ありがとうございました。 	
		チェック項目	ご意見				ご意見を踏まえた対応	
30		その他、気になること、改善してほしいこと、ご意見、ご感想がありましたら、自由にお書きください。	<ul style="list-style-type: none"> ●担任ではない関わったことのない先生にバス降車時に「寝てません。」とだけ言われた事が何度かあった。停留所もはじめの方だし、入園したてだったので意味が分からなかったし、威圧感があった。保護者からの要望で寝ているか教えて欲しいとあったのか分からないが、入園説明時などの初めに伝えてもらっていたら良かった。 				<ul style="list-style-type: none"> ■入園されたばかりのご家族にとってはわかりづらい表現で、バスの中でおこさんが寝たかどうかを伝えてしまったこと、大変申し訳ありませんでした。午睡は夜の就寝時間や夕方のおこさんの機嫌と関連することが多く、ご家族から知らせてほしいという要望があるため、バス乗車中に寝たのか起きていたのかを、伝えるようにしておりました。 	
			<ul style="list-style-type: none"> ●日中一時支援利用時、個人懇談時は子どもをバスに乗せずそのまま保育するのは不可能なのか？ 				<ul style="list-style-type: none"> ■降園時間から日中一時支援を開始するまでの時間帯は、職員は清掃をしたり、翌日の準備をしたり、休憩を取らせてもらったりしています。児童発達支援の療育と日中一時支援を兼務している職員もいるため、一旦おこさんたちにはバスに乗っていただき、コースを一周して戻ってくるまでのおこさんたちのいない時間帯も、運営上、労務管理上必要であることをご理解いただきたいと思います。 	
			ご意見					
		<ul style="list-style-type: none"> ●学校への引継ぎ資料がかなり詳しく、びっくりするくらい良かった。 ●本当に細かいところまで丁寧な対応、子供のためにできることを精一杯やって下さっていると感ずます。とても大変なお仕事かと思われませんが先生方のおかげで子供含め親も日々、助けられています。ありがとうございます。 ●皆さんとても丁寧に対応して下さるおかげで、親子共々安心して毎日を過ごせております。今年もありがとうございました。 						

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	つくしんぼ学級		回答30/配布31 96.80%			公表日	2026年3月17日
	チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	20 66.7%	5 16.7%	5 16.7%	●以前クラスだった部屋を有効に活用していると思います。	●全クラスもそうですが、特にくり組はスペースの関係で見ると利用児が多いと思います。 ■(日中一時支援)利用する人数が日によって変わるし、多い時は特に狭いと感じます。広いスペースについたてを設置し遊ぶ場所を分けました。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	17 56.7%	6 20%	7 23.3%	●職員が少ない時は、子どもの動きをスケジュールで工夫している。	●1クラス園児10名に対し、職員4名の体制なので、職員の休暇は取りやすいと思う。情報を整理して環境を整えるまでに時間はかかると思うが、うまく行くと療育時間中でも休憩時間を確保したり、デスクワークの時間にあてることができると思う。そのためには、他クラスとの連携も鍵となるのではないかな。 ●どのクラスも職員体制に余裕がなさそうに見えます。 ●職員が足りないと感じる時があります。 ●安全に見るだけなら全然良いが、療育をする、個々に合った支援をするということを考えると適切ではないかもしれません。 ■(日中一時支援)こどもの人数、状態で足りないと感じることが多い。日中療育担当の職員に手伝ってもらうこともあります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や棚や家具の配置を工夫して、こどもが情報を理解し、自分の思いを伝えやすいような配慮が適切になされているか。	27 90%	%	3 10%	●パーティションの使用を最低限にした構造化でも、活動内容や支援の個別化により、自然な形で運営しているクラスもあった。 ●各クラスでそのクラスのおこさんに合った構造化に取り組んでいると思います。	■(日中一時支援)広がったスペースについたてを設置し、遊ぶ場所を分けていますが、うまく活用できていないと感じることもあります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	24 80%	1 3.3%	5 16.7%	●療育後の毎日の清掃で衛生的に保ち、心地良さはそのクラスのおこさんに合わせた環境にしていると思います。	●壁の改修工事を令和8年度に行い、改善する予定です。 ●壁が少し破れている。 ●壁紙やパーティションの汚れと剥がれが目立つ。 ●壊れているおもちゃの修繕や消毒も、毎日できるといいと感じます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか	27 90%	%	3 10%	●クラス内にカームダウンエリアを設けて使用している。	■(日中一時支援)1対1の対応が必要な子には、日中の療育で使用するクラスの個室も使用しています

		チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	20 66.7%	%	10 33.3%	<ul style="list-style-type: none"> ●日々の療育は、ヒヤリハットや合理的配慮について考え、改善していると思います。行事は反省を次の機会に生かしていると思います。 ●特に行事の後など、振り返って改善点を明確にし次回に活かしていると思います。 	
	7	ご家族向け評価表により、ご家族の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	22 73.3%	%	8 26.7%	<ul style="list-style-type: none"> ●前年度の意見を取り入れて次年度に向けて改善点を話し合っていると思います。 	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	19 63.3%	4 13.3%	7 23.3%		<ul style="list-style-type: none"> ●職員の意見は流れて行くことが多い。 ●振り返りシートの他に、職員との面談の時間をもう少し設けていくと良いと思う。 ●業務改善のための意見を聞く機会を持っていますが、十分ではないかもしれません。 ●クラス職員で意見を取りまとめて上げているが、改善に至るまでに時間を要している最中なのだと思います。 ●意見は把握する機会はあると思うが、業務の改善まではいけてないことの方が多いと思います。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 (※今年度は第三者の有識者に外部評価を行ってもらう予定です。)	16 53.3%	3 10%	11 36.7%	<ul style="list-style-type: none"> ●諏訪先生のコンサルテーションを受けている。 	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	26 86.7%	1 3.3%	3 10%	<ul style="list-style-type: none"> ●定期的に学習会を行っています。諏訪先生のコンサルテーションも学習会の機会になっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●受動的の為、自主性が今後の課題。 ●療育時間と研修が重なり職員が抜けた時はフリーの職員や管理職が入ってくれていますが、やはり人手が足りないと感じています。研修の時間帯を考えてもらえたらと思います。 ●研修する日時が療育時間ということもあり、参加しにくいことがある。 ●開催はされていそうですが、向上されているかどうかはわからないものも時々あります。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 (※重要事項説明書「7.支援の概要」の部分を参照)	24 80%	%	6 20%	<ul style="list-style-type: none"> ●児童発達支援管理責任者が細部にチェックして頂き感謝しております。 	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもとご家族のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	25 83.3%	%	5 16.7%	<ul style="list-style-type: none"> ●アセスメントシートを用いて実態を捉えながら、児童発達支援計画を作成していると思います。 	

		チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	23 76.7%	%	7 23.3%	<ul style="list-style-type: none"> ●児童発達支援計画作成時に、児童発達支援管理責任者とクラス職員で話し合いの場が持たれています。 ●計画作成前に、クラス職員全員でこどもにあった支援の方向性を話し合って検討してから、児童発達支援管理責任者を交えて更に話し合って計画を立案しています。 ●全ての職員が同じ考え方をする人間ではないため、難しい部分もあると思うが、共通理解できるようにそれぞれ努力して伝え合っているといます。 	■日中一時支援の職員と児童発達支援に関わる職員が情報交換をする機会をもち、共通理解しやすい環境を整えることが必要だと思います。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	23 76.7%	%	7 23.3%	<ul style="list-style-type: none"> ●個別的な関わりを、関わる場所に貼り出して情報を共有しているクラスがあった。良い工夫だと思う。 ●クラス職員間で話し合う機会が持たれています。 ●クラス職員で支援計画の進捗状況や支援の方向性を確認して取り組んでいます。 ●他のクラスのことは正直あまりわからない。自分の所属クラスでは共有するようにしています。 	■日中一時支援の職員と児童発達支援に関わる職員が情報交換をする機会をもち、共通理解しやすい環境を整えることが必要だと思います。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	22 73.3%	%	8 26.7%	●PEP-3や新版K式発達検査を行い、各種アセスメントシートを必要に応じて活用しています。	●まだ充分ではなく、今後の課題だと思う。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	25 83.3%	%	5 16.7%	<ul style="list-style-type: none"> ●本人支援の5領域を踏まえて、児童発達支援計画を作成しています。 ●こどもに合った支援計画となるように立案していると思います。 	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。 (※「活動プログラム」は、毎月の予定表でお伝えしている事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる活動のこと)	24 80%	1 3.3%	5 16.7%	●マリオサーキット等、こどもの様子に合わせた活動内容を設定し、他クラスにも共有できたことは良かったと思う。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	23 76.7%	1 3.3%	6 20%	●今後も職員のアイデアやこどもの様子に合わせた活動を用意していきたい。	

		チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	26 86.7%	%	4 13.3%		●制作の場面で、1グループで一斉に行いながらも、必要な子には職員がついて取り組んでいるクラスもあった。グループを分けて行った方が良い活動もあると思うが、一斉に行うことで、療育中の準備の手間を減らせたり、クラス職員全員でこどもたちの様子を把握することにも繋がるのではないかと感じた。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	23 76.7%	1 3.3%	6 20%		●その日によってできないこともある。 ●打ち合わせを行っているのかもしれないが、情報が共有されていないこともあった。どのクラスも時間を決めて、バス添乗職員以外の人が集まるようにしてみてもどうか。 ●クラスによってばらつきがあると思います。 ●勤務時間がそれぞれ違うのでメモした用紙を各自で確認し、共有するようにしています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	24 80%	%	6 20%	●毎日全員集まるのは難しいが、ヒヤリハットやいつもと違う様子や成長の様子等話し合っている。 ●毎日療育後にクラス職員で振り返り、必要性があることは全体の打ち合わせでも伝えて共有しています。 ●しっかりと打ち合わせをする時間は取れないが、特記事項や気付いたことを共有していま	●職員がそろわず振り返りが難しい時もあったと思う。療育中に気付いたことをその都度スケジュールに書き残していくようにしてみてもどうか。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	27 90%	%	3 10%	●毎日の行動記録をつけて行っています。	●記録に残しているとは思いますが、それをうまく活用することには繋がっていたかどうかはわからない。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	25 83.3%	1 3.3%	4 13.3%		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	25 83.3%	%	5 16.7%	●相談支援事業所が行うモニタリングには、クラスの職員が対応して話をするようにしています。 ●連携会議にはこどもの状況を良く理解してい	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 （※連携会議や情報共有、引き継ぎ等）	26 86.7%	%	4 13.3%	●主治医とは指示書を元に医療行為を行っています。	

		チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点
関係機関や保護者との連携	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 (※併行通園児との連携会議や情報共有)	24 80%	%	6 20%	●インクルージョンの推進とまではいかないが、連携会議で、こども園での困っていること等を伺い、情報を共有する機会にはなったと思う。 ●併行通園児が年々増えていますが、連携会議を行って情報共有の機会を持っています。 ●併行通園先との連携会議や必要時には情報共有と連携をするようにしています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 (※引き継ぎ等)	27 90%	%	3 10%	●学校の先生とは対面での引継ぎを行い、情報共有と連携をするようにしています。	
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。 (※児童発達支援事業所連絡会に、園長・児童発達支援管理責任者等が参加している。)	25 83.3%	%	5 16.7%	●児童発達支援事業所連絡会に参加しています。中核機能を持つ児童発達支援センターとも話し合いの機会を持っています。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 (※セラピストとの連携会議・諏訪先生のコンサルテーションを受けている。)	27 90%	%	3 10%	●諏訪先生のコンサルテーションを年3回、定期的に受けています。 ●外部の研修に職員が参加する機会を持っています。	
	30	自立支援協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 (※金沢園長が参加している。)	25 83.3%	1 3.3%	4 13.3%		
	31	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 (※七重浜こども園との鑑賞会や雪遊び)	27 90%	%	3 10%		●他園との交流の機会も作っていきたい。 ●七重浜こども園との機会を増やしたり、浜分こども園・ゆうあい幼稚園との交流の機会を新たに作りたいと思います。 ●毎年その2つだけではあるので違った形で交流する機会があり、回数が増えてもいいと思っている。鑑賞会や雪遊びよりも、もう少し準備が簡単なもので良い。
	32	日頃からこどもの状況をご家族と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	27 90%	%	3 10%		

		チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点
関係機関や保護者との連携	33	ご家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 (※参観日での学習会やつくしんぼ丸の記事で、おこさんへの関わり方や支援の方法について紹介している。)	27 90%	%	3 10%		●保護者の方が支援グッズを作るなど実演出来る内容があっても良いと思う。 ●また、OG.OB職員と保護者との茶話会等、ざっくばらんに話が出る会も良いと思う。
保護者への説明等	34	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 (※入園時や新年度の療育説明会での、契約書や重要事項説明書の説明をしている。運営規定・重要事項説明書は、ご家族の部屋において閲覧可能にしている。)	26 86.7%	%	4 13.3%		
	35	児童発達支援計画を作成する際には、こどもやご家族の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	26 86.7%	%	4 13.3%	●家族の意向を踏まえて、確認しながら児童発達支援計画を作成していると思います。 ●ご家族の願いを基に、こどもに合った支援計画となるように立案しています。	
	36	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	26 86.7%	%	4 13.3%		
	37	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	27 90%	%	3 10%		
	38	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 (※きょうだいが行事に参加する機会を作っている。また、ご家族からきょうだいの相談を受けたりしているか。)	26 86.7%	%	4 13.3%	●園行事には、きょうだいも参加できるようにしています。	
	39	こどもやご家族からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもやご家族に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	28 93.3%	%	2 6.7%	●相談や申し入れがあった時には、まずクラス担当にその事を伝えるようにしています。	

		チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	40	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもやご家族に対して発信しているか。 (※つくしんぼ学級専用のホームページやSNSはまだ準備できていませんでした。)	19 63.3%	7 23.3%	4 13.3%	●園だより(つくしんぼ丸)は、毎月発行しています。	●個人情報保護の観点から、SNSの活用は現時点では難しい(管理しきれない)かと思います。 ●「広報係」を作り、HPやSNS等を運営してもいいと思います。いずれにせよ、情報を発信することに関しては、かなり遅れていると感じます。
	41	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	27 90%	%	3 10%		
	42	障がいのあるこどもやご家族との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	27 90%	%	3 10%		
	43	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 (※卒・在園児合同行事・土曜日の園開放では、地域で生活する卒園児を招いている。)	26 86.7%	2 6.7%	2 6.7%	●実習生や見学者を積極的に受け入れていることは、地域に開かれた事業運営の一つと考えています。	●なつまつりに卒園児を招いていますが、地域の住民を巻き込むような行事の運営は現時点では難しいと考えています。
非常時等の対応	44	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	26 86.7%	%	4 13.3%		●バス添乗のマニュアルを再確認した方が良いと思う。 ●避難訓練は防犯やブラックアウト等様々な対応が出来るように本番を想定して行うと良いと思う。 ●マニュアルは丁寧に細かく作成されており避難訓練も実施できていると思いますが、今年度実際に津波警報があった時は、情報収集に時間が掛かり、子ども達を避難させるのもかなり遅くなり、ご家族への連絡等がスムーズではなかったと思ったので、迅速に対応できるようになると良いと思いました。
	45	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 (※新年度の会議で配布)	26 86.7%	%	4 13.3%		
	46	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 (※新入園児の面談時にご家族に提出してもらい、年度替わりには健康に関するアンケートの提出を求めている。)	29 96.7%	%	1 3.3%		●毎日の連絡帳でも服薬やてんかん発作の状況をご家庭とやり取りして共有しています。
	47	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 (※新入園児の面談時にご家族に提出してもらい、年度替わりには健康に関するアンケートの提出を求めている。)	23 76.7%	4 13.3%	3 10%		●令和8年度から医師の指示書の提出をお願いするにしています。 ●次年度より食物アレルギーがあり、特別な配慮が必要なおこさんには、医師の指示書に基づく対応をすることになり、アレルギー対応の必要性をより明確に認識できることと思います。

		チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点	
非常時等の対応	48	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 (※リスクマネジメントマニュアルがその役割を果たしている。)	28 93.3%	%	2 6.7%			
	49	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 (※新年度の療育説明会でリスクマネジメントマニュアルを配布している。)	28 93.3%	%	2 6.7%	●7/30の津波警報による避難を受けて、対策を見直し、家族には園だよりで周知しました。		
	50	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	29 96.7%	%	1 3.3%	●クラスでヒヤリハットを出し、リスクマネジャーが毎月集計して報告しています。		
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	27 90%	%	3 10%			
	52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもやご家族に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 (※今年度の最後にご家族に渡す児童発達支援計画にこれから載せる。)	27 90%	%	3 10%			
	53	その他、気になること、改善してほしいこと、ご意見、ご感想がありましたら、自由にお書きください。	●業務改善と支援の質の向上に向けて、定期的に話し合う機会を持っていきたいです。 ●この評価表に関してですが、「はい」「いいえ」「わからない」の3択ではなく、5段階評価にして、どのくらいできているかを明確にした方がいいのかなと思います。					

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	2026年 1月 13日		～ 2026年 3月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名(ただし、利用期間が短い方1名には配布せず、配布は19通)	(回答者数) 17名
○従業者評価実施期間	2026年 2月 17日		～ 2026年 3月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○訪問先施設評価実施期間	2026年 2月 3日		～ 2026年 2月 27日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	13箇所	(回答数) 13箇所
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問支援員が、経験年数が高く、さらにこども発達支援センターの業務を兼務していることで、訪問先と連携がしやすいこと。	支援後の話し合いの際、質問や困りごとに対して一方的に答えるのではなく、実際に担当児を見ている先生方の考えをお聞きして、一緒に考えながら先生方が自分園(学校)でやりやすい方法を導き出すようにしている。	訪問先の先生方の力が付いてくると、訪問支援の必要頻度が下がるので、その分他のニーズに応えることができる。
2	訪問支援を始めて、実績があるので、園の方から保護者に丁寧に説明をして、利用のメリットを伝えてくれるケースが増えていること。	こども発達支援センターの不定期の園訪問もあるので、定期的に支援が必要なお子さんかどうかを、先生方と一緒に見極めながら、お引き受けするようにしている。	なるべく、必要性のあるところに支援が届くように、他の保育所等支援事業所とも分担をしながら、対応していきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用希望が多く、ニーズに充分に応えられないこと。訪問回数も月1回になっている。	訪問支援員の不足。	今年度は、昨年度同様4名体制で始めたが、途中で退職があり、結局3名体制になった。令和8年度は、4名体制で始められるので、改善が見込まれている。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	つくしんぼ学級
------	---------

公表日 2026年 3月 30日

利用児童数 20名 (配布数19部)

回収数 17/19 (89%)

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	76%			24%	・ひらがな、数字、ゲーム等 色々な物を使っている と思う。	・教材教具を使用する支援を必要としないお子 さんもいます。また、その場で文字や絵で示して説 明する場合があります。いずれにせよ、どんな方法 で支援をしているかを、分かりやすくお伝えするよ う心がけます。
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	76%	6%		18%		・保護者の方と個別にお話しをする場合、家庭訪問 や訪問先の一室をお借りすることが多いです。保健 センターをお借りすることもありました。保護者の方 の許可を得て、園の先生や保健師さんに同席して いただく場合もありました。 同席は遠慮して欲しい場合は、支援員と一対一で話 すことも可能ですので、遠慮なくお伝えください。
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	100%					
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	100%					
適切 な支 援の 提供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	100%				・先生一人に対して子どもが 多くなると大変になるかな？ と思います。	・なるべく、一人に負担がかからないよう、他の業 務との兼ね合いも考えながら割り振りしています。
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%					
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	82%	12%		6%		・必ず、訪問先の先生方にお話を伺って、訪問先の 意向を取り入れて作成しております。
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	88%			12%		・保育所等訪問支援ガイドラインが一般的ではない ことから、伝わり難かったのだと思います。
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%					

		チェック項目	はい	どちらとも いえ	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	94%			6%		・No.8同様に、訪問先に合わせた支援をするよう心がけております。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%					
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	24%	29%		47%		・児童発達支援をご利用のご家族には、学習会の機会を持っておりますが、訪問支援をご利用のご家族は、遠方の方も多く、ご案内はしておりませんでした。就学、進学の際の学校見学や就学相談のお知らせは、該当するご家族にしております。
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか。	100%					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	82%	12%		6%		・直接お会いしてお話しする機会は、なかなか持つことが難しく、電話やお手紙でのやりとりが多くなりました。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	94%			6%		・訪問先の先生方は、どこもととも協力的で、一緒に支援を進めていくことが出来ておりました。
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100%					
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%					
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	94%			6%		・訪問支援終了前後（必要に応じて支援中にも）先生（特に担任の先生）とは、情報を共有し、相談にも応じるようにしております。
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	88%			12%		・訪問先の先生方との話し合いを、毎回必ず行っております。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	100%				・写真を添えてすごく細かく一日に何があったか書いてくれています。	
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	53%			47%		・R6年度より、社会福祉法人侑愛会のHPIに、評価結果を載せております。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%					
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	75%	6%		29%		・今後は、訪問先での緊急時の対応に関する情報もいただきながら、より連携して行けるよう努力します。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
満足度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	86%	6%		18%		・つくしんぼ学級として「安全計画」が整備されております。訪問先でも、お子さんの安全を第一に支援をしています。
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	100%				・長年に渡り支援してくださっているため、子どもも先生を信頼しています。 ・先生が大好きですごく楽しく勉強したと話してくれています。	・お答えくださった皆様が、全員「はい」のご回答でとても嬉しく思っております。今後も、保護者の皆様に満足していただき、お子さんが喜んでくださるような支援を目指していきます。
	28	事業所の支援に満足していますか。	100%				・大変満足しております。 ・子どもに対しても保護者に対しても丁寧で優しくとてもありがたく思います。	

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

2026年 3月 30日

つくしんぼ学級

利用児童数

20名

2026年 3月 13日

回収数 13/13

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・ 集団生活の中での対象児の様子を細かく捉え、場面や状況に合った助言をいただいています。対象児の様子を改めて確認したり、理解を深めることが出来ています。 ・ 具体的でわかりやすく、絵カードの取り組み方のアドバイスもいただけて参考にしています。 ・ 困っていることなど相談するとすぐに個人にあった方法を教えていただいたり、次回の訪問の時に支援グッズなど準備して頂けてありがたかったです。 ・ 担当児への園での取り組みを認識していただき、園での環境内で環境内で可能な助言に基づき参考とさせていただき取り入れております。 ・ 口頭の助言だけでなく、行事の際には、支援グッズの提供等もしていただき、当日は対象のお子さんの他にも活用させていただき、たいへん助かりました。 ・ いつも分かりやすいお話をいただき、私たちが取り入れやすい方法をご助言していただいております。 ・ 児童の困り感や必要な支援の仕方を具体的に教えていただきとても参考になりました。 ・ アドバイスしていただいたことで、学校での支援に取り入れたものもありました。 	大変良い評価をありがとうございます。先生方が、お忙しい中ですぐに支援を取り入れてくださり、私たちの方が頭が下がる思いです。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・対象児に合わせた個別の課題を取り入れてくださり、今後の課題が見えたり、力となっている様子が見られてありがたいです。 ・絵カードのアイデアなど頂けてとても参考になります。 ・発達状況に基づいての担当児への療育アプローチの知識を教えてください、現場に反映する流れが出来ております。 ・個別課題作りに悩むことが多かったですが、色々な個別課題を紹介してくださったり、自分が作ってみたいけれどもうまくいかなかった課題をアレンジして持ってきてくださったことにより、たくさんの知識や自分のスキル不足の頃を知ることが出来ました。また、園内研修でスケジュールの講演をお願いした際には、今まで知らなかった「スケジュールの効果」を知ることが出来、学びを深めることが出来ました。 ・とても満足しております。 ・コミュニケーションがうまく取れない時に、児童に分かる言い方や指示の出し方、アイデアをたくさん出していただきました。 ・成長過程や得意・苦手なことなどもよく知っており、多面的な児童理解に役立っています。 	大変良い評価をありがとうございます。今後も、なるべく具体的に、分かりやすく情報をお伝えするよう心がけて参ります。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・対象児の特性を汲み取って適切な支援の仕方を教えてくださいるので気づきの納得でいつも学ばせていただいています。 ・色々なアドバイスが頂けるので、関わり方に前向きなれます。 ・随時、観察後には、担当職員とやりとりする時間を作っていただき、普段の担当児の姿についてお伝えし、対応派の検討事項について質問させていただき、適時回答してくださっています。 ・いつでも快く回答をしてくださったので、遠慮なく質問させていただきました。また、話しを最後までじっくり聴いて下さるので、安心して質問することが出来ました。 ・私たちからの、普段何気ないことの、疑問・不安等に対しても、丁寧にお答えいただいております。 ・いつも具体的に分かりやすく（具体物を持ってきていただいたことも）教えていただいております。 	大変良い評価をありがとうございます。先生方から、いつも熱心にご質問をいただくので、私たちも一緒に考えさせていただきますいております。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	88%	8%		<ul style="list-style-type: none"> ・対象児や保護者、保育者の困りごとを聞いてくださり、適切なアドバイスをいただいたり、時には三者懇談をしてくださり、困りごとなどが軽減されたり解決しています。 ・課題設定に対する考え方の捉えを、都度見直すことが出来、困りごとについても相談させていただき、現場に反映させていただいております。 ・訪問支援に来ていただいた際に、困りごとに対してアドバイスをいただいております、その後保育の中での関わりに生かすことができています。いつもありがとうございます。 ・一対一の対応が必要なお子さんでしたが、行事の総練習や当日について下さり、安心して行事の進行や他のお子さんの支援に専念することが出来、大変助かりました。 ・日々、色々な状況は変わりますが、金沢先生にご来園いただくことで、私たちの気持ちを受け止めていただき、その都度保育方法のヒントをいただけることで、前向きに取り組むことができます。 ・こまっていることを相談できることで、私自身が安心して取り組んでいます。 ・福祉的な面や就労まで見据えたアドバイスを受けることが出来、家庭の悩みや相談にも対応してくださっていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・なかなか結果が出ず、力不足を感じることもあります。ひとりひとり、困りごとの背景が違うので、対応し切れていない事もあり、申し訳なく思っております。
5	事業所からの支援に満足していますか。	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・毎月来所し支援をしていただいております。対象児について支援していただくことで、対象児、保護者、保育者それぞれの安心に繋がっています。 ・満足しております。 ・今後も真について相談させていただきたいと思っております。よろしく願いいたします。 ・知識や技術の提供だけでなく、ご家族や民間の事業所との潤滑油になっていただき、満足しました。 ・とても満足しております。これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。 ・大変満足しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大変良い評価をありがとうございます。今後も、先生方と一緒に、お子さんやご家族の支援を進めて参ります。

<p style="text-align: center;">その他のご意見</p>	<p style="text-align: center;">ご意見を踏まえた対応</p>
<p>・取り巻く環境、友だち、それぞれの悩みが解決したり、軽減されたり、いつも本当に心強いです。今後もお力を貸していただきたいと思えます。引き続きよろしくお願いいたします。</p> <p>・月に1回の訪問ですが、保育所での困りごと等に適切な助言をいただき、とても助かっています。先生からの助言を他の支援を必要とする子にも取り入れてみる一つのヒントとなり、職員一同勉強させていただいています。ありがとうございます。</p> <p>・児童発達支援事業所と園と保護者の間に入り、連携が円滑に進むように橋渡しをしていただいたり、園の思いを汲み取っていただき、保護者に伝えていただいたりと、様々な場面で園は助けていただきました。園側としても相談できるという安心感があり、園だけで様々な悩みを抱え込まずに済みました。また本児のこと以外にも相談させていただいたり、助言をいただき、園内で困ったことがあると「今度相談してみよう…」といつも頼りにしていました。いつも元気いっぱい、寄り添ってくれる金沢先生から私たちが保育に向かう力をいただいていた。来年度は、しばらくぶりに訪問支援の必要な園児がおらず、私たちの方が少々不安もありますが…。また、研修等でお世話になることがあると思えますので今後もよろしくお願いいたします。</p> <p>・日頃から丁寧に現場の状況に寄り添っていただき、担当職員をはじめ、現場職員の気づき・学びの場となっております。佐藤さんからの助言が園環境の中で展開可能かと職員同士で打ち合わせした後に環境の構造化に着手し、園生活の中で過ごす担当児の成長にも繋がっていると実感させていただいております。今後ともよろしくお願いいたします。</p> <p>・当園に通園している子どもたちの中に個別支援をしていかなければならない子どもが、毎年増えつつあり保育士だけの支援では、間に合いません。訪問支援を利用させていただくことで、子どもたちに適切な支援がなされております。また、子どもたちと過ごしていく中で、成長した姿を目の当たりにして保育士たちの喜びや安堵が見受けられております。保育士は、専門的なことはまだまだ身につけておりません。訪問支援を利用させていただく中で、保育士も勉強させていただいております。毎月の訪問が子どもたちだけでなく、保育士も成長させていただいております。いつもありがとうございます。</p> <p>・個別支援計画作りの時から、訪問支援の支援計画書と連動する目標を一緒に考えて下さったり、行事の時には、総練習の時から快く参加下さったことによって、チームで支援する楽しさや充実感を体感することが出来ました。お忙しい中、いつも都合に合わせていただいたことに感謝です。</p> <p>・ご家族への訪問支援の報告書には、ご家族からは見えない部分の保育士の関わりや工夫をさりげなく文章に盛り込んでいただいたり、カンファレンスの中で、保育の大変さや事情を理解した上での助言をいただくなど、細やかな配慮に救われる思いがしました。</p> <p>・日頃より、金沢先生には大変お世話になっております。いつも支援の必要な園児やその保護者の様子を気にかけてくださり、なた、私たち職員に対しても、温かい言葉や励まし。アドバイスをいただいております。訪問支援の日は、該当園児もとても楽しみにしている様子が見られております。金沢先生には、毎回その日の保育に少しでも該当園児が参加できるように、その園児の興味や関心がある物を持参していただきながら、参加できるような雰囲気を作ってください感謝しております。満足そうな園児の顔を見て、その一つ人つん経験が大事なのだと感じております。また、保護者対応についても一緒に考えてくださり、その他の関係機関との連携についてもお力添えをいただいております。本当にありがとうございます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。</p> <p>・私にとってもとても心強い1年でした。ありがとうございました。児童の成長に繋がるアドバイスをたくさんいただきました。</p> <p>・予告なしでの参観を保護者に促していただきたい（実際に見るのと聞くのとでは、差が生じるため）。</p>	<p>・どのお子さんも支給量は月2日ですが、月2回訪問できたケースは、数えるほどしかありませんでした。それでも、毎月訪問するたびに、先生方が関わりを工夫されることで、お子さんの成長が見られていて、訪問するのが楽しみでした。</p> <p>・保護者の方との橋渡しや、先生方と一緒にお話を聞く機会も持つようにしていたつもりですが、それぞれの時間帯が合わず、また聞きの状態になることもあり、情報の共有が不十分だったところもあったと思います。</p> <p>・いただいたご意見を参考に、次年度も頑張っていきたいと思っております。</p>

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		つくしんぼ学級			公表日		2026年 3月 30日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点		
環境 体制・ 整備 運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	100%		・支援計画に合わせて毎回準備をしています。児童発達支援でストックされている課題も有効に使わせてもらっています。			
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%		・現時点では、これ以上の人員配置は難しい。 ・ニーズは多いので、専任がいると、なお良いように思います。	・年度当初4名体制で行う予定でしたが、退職者がいて3名になり、昨年度の実績を下回りました。次年度はまた4名体制になるので、ニーズに応えられるようになると思います。		
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%					
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%					
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%					
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%		第三者の運営アドバイザーにあっていただくことで、自分たちでは気づけなかった所を知って改善に向けて努力できるようになりました。			
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%					
適切 な 供 支 援 の	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	100%					
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%					

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
適切な 支 援 の 提 供	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	100%			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%			
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	100%			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		11の再掲	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	67%	33%	・個別で（担当制）で行っています。 ・訪問先の先生とは活動内容の確認をしています。	・訪問先の先生方とは、その日の保育内容を支援の前にお聞きして、訪問支援員の役割や支援の場面を設定しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%			
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	100%			
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	100%			
関係機 関 の 連 携 や 保 護 者 と	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		・保育所のカンファレンスに管理職と担任が参加している。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%		・保健師さんやセラピストと連携をして、記録をお渡ししたり情報共有をしています。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%		・ご家族の同意をいただき、就学先に情報提供や支援の継続のお願いをしました。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	100%			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
関係機 との関 連や携 保 護 者	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	100%			
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	67%	33%	・機会がないし、持ちづらい。 ・親子療育の利用をお勧めすることがあります。	・家族が参加できる研修等、地域によっては児童発達支援で紹介している物をお渡ししても良いかもしれないと考えています。
保 護 者 等 へ の 説 明 等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	100%			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	100%			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	100%			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	67%	33%	・機会がないし、持ちづらい。 ・きょうだいの相談に乗ることはありません。	・訪問先の保護者会との関わりは難しいですが、利用児のご家族が望むのであれば、ペアレントメンターの紹介や相談先を紹介することは出来るのではないかと思います。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		・連携会議等こども園さんと共に迅速に行っています。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	33%	67%	・個別の報告以外に、報告することや発信することがない。 ・昨年度から、評価表や児発の支援プログラムの好評をHPで行っています。	・訪問支援を利用されているご家族のニーズに合わせて、就学相談や学校見学のご案内など、今後も発信していきたいです。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%			
36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%				

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
訪問 先 施設 へ の 説 明 等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	100%			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	100%			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	100%			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	100%			
非 常 時 等 の 対 応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		100%	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所での方針に沿うことになるので、つくしんぼ学級のマニュアルを使用する必要がない。 ・訪問先が行う訓練には参加したことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問先で地震があり、子どもたちが不安がってしがみついていたことがあった。訪問先のマニュアルを見せていただくなどの必要性を感じました。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	33%	67%	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所での方針に沿うことになるので、訪問支援員が単独で行うことは難しい。 ・安全計画？つくしんぼのものですか？ ・安全計画は、つくしんぼ学級として作成しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの安全を守るという意味では、児童発達支援も保育所等訪問支援も同じなので、基本を訪問支援員も知っていることは大切だと思います。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	67%	33%	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所での方針に沿うことになるので、訪問支援員が単独で行うことは難しい。 ・実際にヒヤリハットや事故はなかったが、支援中に遭遇した場合は、職員間で共有していきたいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援中に目にしたヒヤリハットに関しては、訪問先の職員さんにもお伝えしていません。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	67%	33%	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所での方針に沿うことになるので、訪問支援員が単独で行うことは難しい。 ・支援者の心構えとして、つくしんぼ学級の研修は十分意味があると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの安全を守るという意味では、児童発達支援も保育所等訪問支援も同じなので、基本を訪問支援員も知っていることは大切だと思います。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%			